

気象データ・アイデアソン及び 気象データ・ハッカソンの開催報告

オープンデータ流通推進コンソーシアム事務局
(株式会社 三菱総合研究所)

村上 文洋

【ハッカソン】 (Hack・a・thon)

- ハック (hack) + マラソン (marathon) の造語。
- プログラマーが一堂に会し、テーマを決めて集中的にプログラム開発を行うイベント。プログラマー以外に、テーマに詳しい人やデザイナーなどが参加することもある。
- 数日間かけて泊まり込みの合宿形式で行うこともある。今回は半日 (13時~19時) で実施。

【アイデアソン】 (Idea・thon)

- アイデア (idea) + マラソン (marathon) の造語。
- ハッカソン開催前に、開発するテーマについてアイデア出しを行うイベント。
- 今回はfacebook上で、約1か月にわたって開催。

目的

- 公開されている気象データ及び他のデータを組み合わせて活用することにより、新たなサービスに関するアイデアを得て、試作品を開発することで、広くオープンデータの意義や可能性を社会にPRする。

主催等

主催：オープンデータ流通推進コンソーシアム

後援：総務省、国際大学GLOCOM、Hack For Japan、オープン・ナレッジ・ファウンデーション日本グループ、日本経済団体連合会、LODチャレンジ実行委員会

協力：気象庁

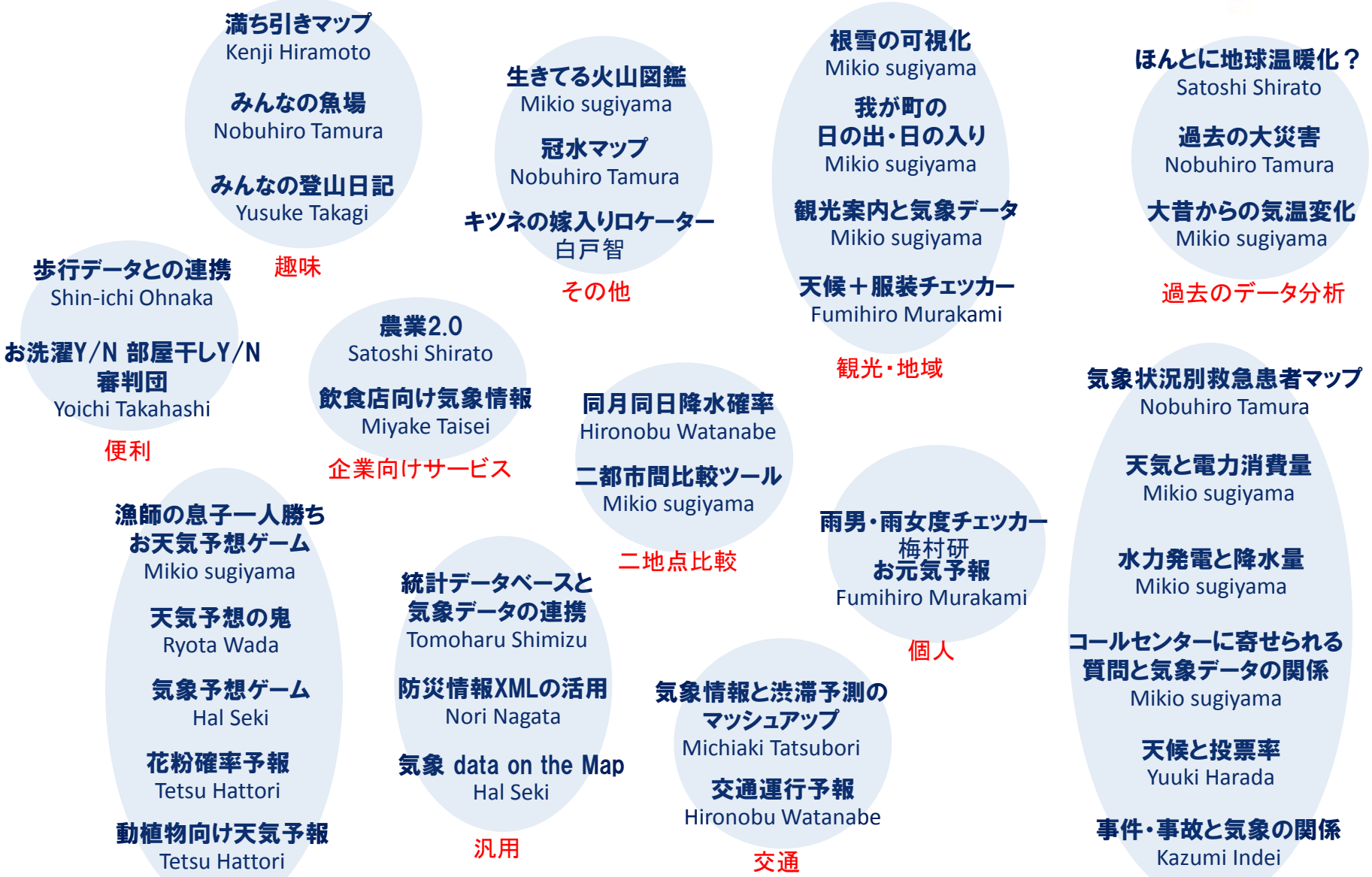
3. 気象データ・アイデアソンの開催

- 気象データ・ハッカソンの開催に先立ち、2012年11月5日～30日の約1か月に亘り、facebook上に「気象データ・アイデアソン」グループ（公開）を作成して、互いにアイデアや意見を出し合いました。
- 参加登録者数は、170名以上。最終的に40以上のアイデアが出ました。



The screenshot shows the Facebook interface for the '気象データ・アイデアソン' group. At the top, there are navigation tabs for '情報', 'イベント', '写真', and 'ファイル'. Below these are icons for '投稿する', '写真/動画を追加', '質問する', and 'ファイルを追加'. A search bar contains the text '何か書く...'. The main content area features a post by '村上 文洋' (Murakami Fumihiko) with a profile picture. The post text reads: '気象データ・ハッカソンに記者として参加された日経BPの市嶋さんが、記事にしてくれました！' (A journalist from Nikkei BP, Ichimizu, participated in the weather data hackathon as a journalist and wrote an article for us!). Below the text is a URL: http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20121203/441503/?top_nhl. There is also a featured article snippet with a thumbnail image of a presentation, titled '気象データの活用コンテスト、「体調」や「住みやすさ」の可視化サービスなど提案' (Weather data utilization contest, proposals for visualization services such as 'well-being' and 'livability'). The snippet text says: 'オープンデータ流通推進コンソーシアムは2012年12月1日、天気や気温などの気象データを活用し新たなサービス' (The Open Data Circulation Promotion Consortium will use weather data such as weather and temperature on December 1, 2012, to create new services). Below the post, there are interaction options: 'いいね！' (Like), 'コメントする' (Comment), '投稿のフォローをやめる' (Unfollow post), and 'シェア' (Share). A summary shows '70人が表示済み' (70 people have viewed) and '18人が「いいね！」と言っています。' (18 people have said 'like!'). There is also a link to 'コメント4件をすべて見る' (View all 4 comments). Two comments are visible: one from '大石 康晴' (Oishi Yasuharu) praising the article and mentioning '体調ナビゲーション' (well-being navigation), and another from '石黒 猛雄' (Ishikuro Muto) mentioning 'じゃれ予報' (joke forecast) and '古橋さんと森崎さんの後姿' (the backs of Kobayashi and Morioka). At the bottom, there is a 'コメントする...' (Comment...) input field.

例えば、以下のようなアイデアが出ました



※ ここに掲載しきれないものもあります。

4. 気象データ・ハッカソンの開催

- 気象データ・アイデアソンで出たアイデアを活用して、気象データ・ハッカソンを開催しました。
- 気象庁、総務省、経済産業省、産業総合技術研究所などからも参加がありました。
 - 開催日時：2012年12月1日(土)13:00～19:00
 - 開催場所：三菱総研内会議室
 - 参加者：約50名



①「おしゃれ予報」チーム

- お出かけ先と気候、手持ちの洋服をもとにお薦めの服装をアドバイス。

②「住みよいマップ」チーム

- 気候や生活利便性、災害リスクなどのデータを地図上に可視化。

③「満ち引きマップ」チーム

- 浜辺の潮の満ち引きを可視化し、海水浴や潮干狩りなどに活用。

④「体質ナビゲーション」チーム

- 本人の体質とその日の気候、予定などをもとにアドバイス。

⑤「CrowdMapと地図のマッシュアップ」チーム

- 既存のサービス「CrowdMap」に様々な気象データをマッシュアップ。

⑥「統計データ×気象データ」チーム

- 消費支出などの統計データと気象データの相関を分析・可視化。

- ◇ 様々な組織に所属する人が集まり、コラボレーションする意義
- ◇ 既存のサービスをうまく活用して時間を短縮
- ◇ 当該分野の専門家がいると心強い
- ◇ ソーシャルメディアはアイデアソンに使える
- ◆ 半日では、できることが限られる
- ◆ サービス実現までどのように継続するか



OPEN DATA

オープンデータ流通推進コンソーシアム